

平成27年度事業報告

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

平成27年度の我が国の経済をみると、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で緩やかな回復基調が続いています。

平成27年11月に政府は「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の新たな3本の矢を公表し、これらの実現に向けた「ニッポン1億総活躍プラン」をまとめ、日本が目指す具体的な方向性が示されました。

国の健康政策においては、「高齢化対応・健康長寿モデルの実現」、「医療費の伸びの抑制」が重点事項として掲げられ、保険者によるデータヘルスの効果的な推進やがんの克服に向けた取組の加速化等、一人ひとりの主体的な予防・健康づくりを社会全体が支える仕組みを構築する各施策が進められています。

平成27年度における事業活動は、データヘルス事業への対応を図るべく学術研究センターを中心に学術調査・研究事業を推進し、医療保険者等のニーズへ対応を図って参りました。今年度の健診実績報告書作成においては、ビッグデータ解析への試行として有効なシステムを活用した図表作成等を行い、利用者に有用な可視化を図りました。

健康診断事業については、公益活動の広域化に伴う県外事業の実施により、職域健診事業は、製造業を中心に一般健診、雇入時健診、特殊健診において増加傾向でした。市町村健診事業についてもがん検診は増加し、昨年度同程度の実績を確保致しました。

今年度は、一般財団法人宝くじ協会の公益助成事業により、胃胸部併用デジタルレントゲン車の整備を行いました。特に高齢者や弱者の方でも撮影可能な胸部ポータブルX線撮影装置を搭載した「人にやさしい」検診車の整備を行うとともに、精度の向上、健診受診率の向上に努めて参りました。

平成27年度の事業運営に際しては、関係行政機関、医師会、大学等々のご指導、ご支援のもと円滑な運営が図れましたことに対し、役職員一同深く感謝申し上げますと共に今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。